

こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌

2021.3
vol.63

ご自由にお持ち帰りください



世界文化遺産 「東大寺」

東大寺(とうだいじ)は、奈良県奈良市雑司町にある華嚴宗大本山の寺院。(中略)「大仏さん」の寺として、古代から現代に至るまで広い信仰を集め、日本の文化に多大な影響を与えてきた寺院であり、聖武天皇が当時の日本の60余か国に建立させた国分寺の中心をなす「総国分寺」と位置付けされた。 文・写真引用元:Wikipedia/写真AC

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえで受けてください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

院長退任のご挨拶

高知赤十字病院院長 浜口 伸正



令和3年3月末をもちまして、5年間の院長生活を最後に、高知赤十字病院勤務を定年退職にて終えることができました。昭和63年9月に高知赤十字病院に外科部長として入職して以来、皆様方には大変お世話になりました。私の生まれ故郷である高知の赤十字病院で働くことができ、ここから感謝しています。

当院では呼吸器外科、一般外科を担当いたしました。高知県下で初の胸腔鏡下手術を行い、高知県下の呼吸器外科医とともに、高知呼吸器外科研究会を発足しました。また内視鏡手術が保険適応になり、普及してきたこともあり、高知内視鏡手術フォーラム、四国内視鏡外科研究会の立ち上げに参加し、代表幹事等を務めさせていただきました。多くの患者さんを紹介していただいた地域医療機関の先生方、いつも背中を押していただいた患者さんそしてご家族の方に感謝申し上げます。

32年6ヶ月の在任中、特に記憶に残るものとしては、災害での救護活動です。平成7年の阪神淡路大震災に高知県からは最初の救護班長として、発災翌日より救護活動を行ったこと。副院長時代の平成23年の東日本大震災の時には、地震発生当日に、ただちに救護班を招集、派遣することができ、その後100名を超える職員が救護活動に向かってくれたこと。平成28年院長就任後にも、すぐに熊本大地震が発生し、救護班を派遣できたことが挙げられます。いずれも急な要請であったにも拘わらず、多くの職員の皆さんが、率先して救護に向かってくれたことに感謝しています。

平成28年に院長職を拝命しましたが、前例のない甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震の発生に備えるためには、施設の老朽化や狭隘

化に加え、津波や地盤沈下に伴う長期浸水が考えられるため旧病院では広域的な災害拠点病院としての機能を果たすことができないこともあり、新病院への新築移転が私の使命でした。平成29年3月に工事着工し、2年間で安全にそして順調に予定通り工事が完了し、平成31年4月に新病院竣工式、記念式典等を行うことができました。そして、令和元年5月6日に昭和、平成と長きに亘り医療活動が続けてきた新本町の旧病院より、患者移送を安全に行い、新病院として秦南町に移転開院できました。

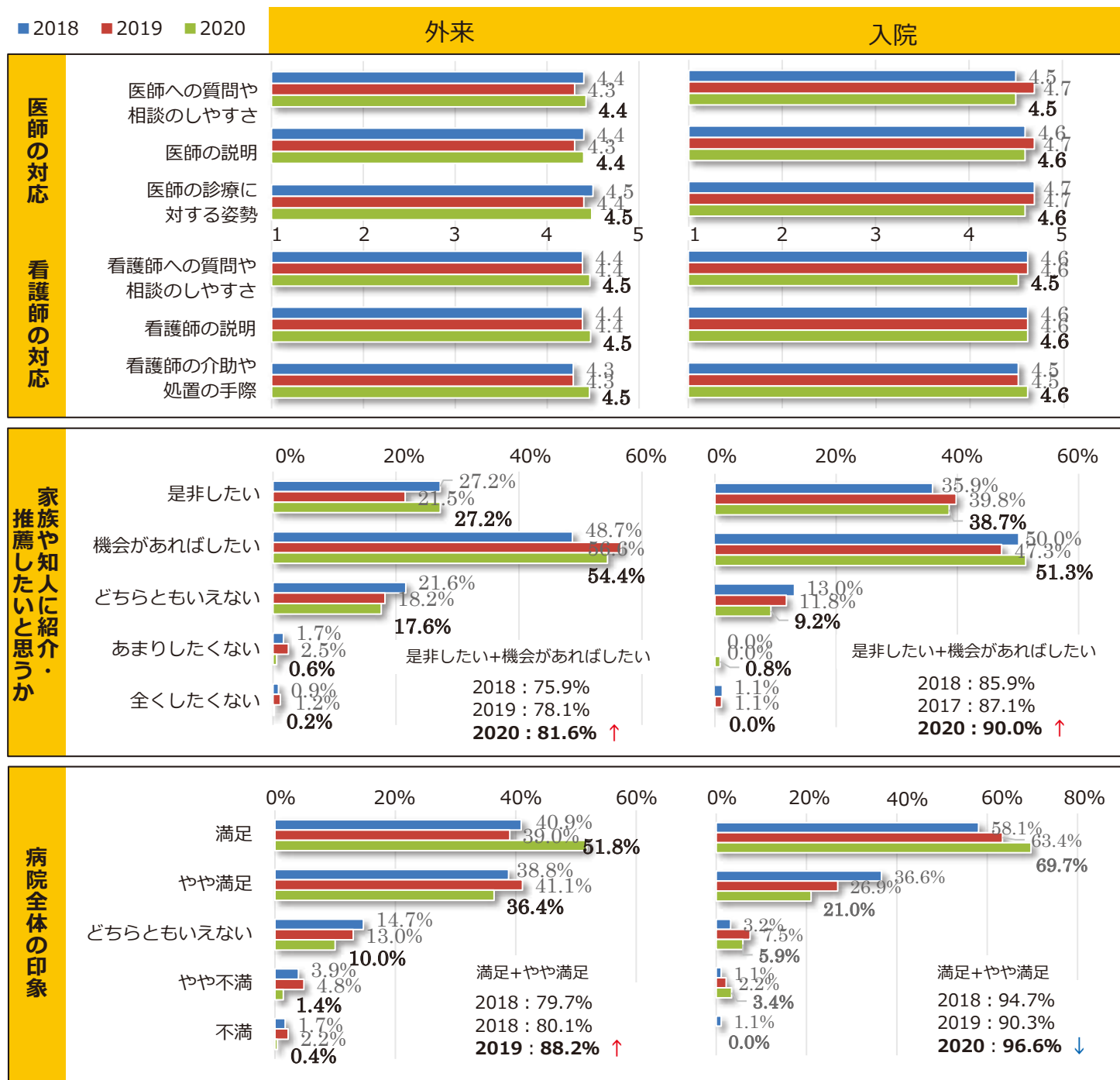
新病院は、日本でも有数の災害に強い病院構造になっています。さらに、救命救急センターは屋上ヘリポート、緊急手術対応可能な設備等を有し、病院派遣型救急ワークステーションを県下で初めて設置するなど県下の救急医療活動の拠点として、さらに充実しています。また、最新の医療設備や機器を整備し、がん診療を含めた高度急性期病院として機能強化を図りました。そして、高知県内初の女性専用フロアを開設し、女性にやさしい病院をつくることができました。各診療科の連携強化によるシームレスで質の高い医療を提供することとしています。

これからも県民市民の皆さんの期待に応えていくため、職員が一丸となってチーム医療の質を向上させ、災害・救急医療に強い、地域の中核病院としての役割を果たして行ってくれることと思います。

地域の皆様方のご支援そして職員の皆さんの努力により、院長としての勤めを果たしてことができました。長い間、本当にお世話になりました。今後とも高知赤十字病院をよろしくお願い申し上げます。

2020年度患者満足度調査結果報告 ※抜粋

今年度も、多くの皆さまのご協力により、貴重なご意見・ご要望をいただきましたことをお礼申し上げます。
集計結果については、院内にも掲示し公開しております。(4月下旬～7月下旬)



■新しい病院になって診察後に担当看護師と話すことがなくなり、医師に聞きそびれたことなど些細な心配事を相談する人がいなくて少し不安です。

▶不安な気持ちにさせ申し訳ありません。ご心配なことなどありましたら受付事務にお声をかけてください。担当看護師が参ります。貴重なご意見をありがとうございました。

■総合病院なので待ち時間は仕方ないと思いますが、なんとか改善できないものでしょうか。自分は経過観察ですので、2時間でも待てますが、現時点で体調がしんどい方、後に仕事が控えている方はしんどいと思います。(診察について) 予約時間による。早いときは10分も待たず診てもらえたが、長いときは2時間以上待った。

▶待ち時間が長くなり大変申し訳ありません。救急の患者さま、紹介状をお持ちの患者さまの受診を優先することがあるため、予約の患者さま、さらに予約外で来院された患者さまをお待たせすることがあります。そのため、診察までの待ち時間の目安をお伝えするようにしておりますが、それ以上に診察が遅れる場合にも、お声掛けを行うよう努めてまいります。ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

■救急搬送されてきたのですが、搬送先が日赤さんでよかったと心から思っています。3週間ほど入院していましたが、看護師さんはもちろん看護補助の方、そして部屋のお掃除に来てくださったスタッフの方がいつも明るく親身になって接してくださったことが特に印象深く残っています。

▶うれしいお言葉をいただき、大変励みになります。これからも、信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。

ちゅと※
聞いてみて!※ちゅと…
土佐弁で「ちゅと」という意味。

■ 『自立支援医療』について

心身の障害を軽くし、重症化を防ぐための医療にかかる費用を軽減する制度です。

今回は特に『通院医療制度』をピックアップしてみました。

特に当院でも利用が多い病名は、脳外科や小児科における“てんかん”です。

長期療養と薬代もかさみますので、特に保険の自己負担額が3割負担の方にとっては、適応すれば1割負担となり、病院代を減らすことができます。

精神通院医療:

対 象

統合失調症、双極性障害、うつ病、てんかん、認知症、薬物依存などで通院により継続治療が必要な人。

利用者負担

自己負担は原則1割負担です。ただし、世帯の所得や本人の収入に応じて1か月あたりの自己負担額が設定されています。

* 利用者負担を決める「世帯の範囲」は、同一の保険加入者、または税制上の扶養関係にある方になります。

利用方法

医師の意見書が必要となりますので、主治医や医療相談室をお尋ね下さい。

* 精神通院医療は、診察のほかにも精神科デイや訪問看護なども対象になりますが、それぞれ決められた医療機関しか使用できません。また1年ごとの更新手続きも必要になります。

医療相談室支援室

知って安心、つながる医療。何かあれば“ちゅと寄って”ください。

監修：社会福祉士 谷内 光代

おすめお手軽レシピ

管理栄養士 西川 薫

野菜の揚げ出し



■材料(2人分)

なす…………… 小2本
ししとう …… 6本
しいたけ …… 2個
にんじん …… 10g
揚げ油
だし汁 …… 120ml
しょうゆ …… 大さじ2
みりん …… 大さじ2

■栄養成分: 1人分

エネルギー 100kcal
たんぱく質 1.6g
食塩 2.6g

作り方

- 1 なすは縦半分に切り、皮に切れ目を入れる。
ししとうはつまようじなどで穴を数か所あける。
しいたけは石づきをとり、にんじんは好きな形に飾り切りにする。
- 2 1のなすとししとうを170度の油で揚げる。
- 3 だし汁にしょうゆとみりんをあわせて、ひと煮立ちさせる。
- 4 揚げたなすとししとう、しいたけ、にんじんに3をかける。

フードロスについて学んでいた小学6年生。学校で全家庭を対象に、子供たちが嫌いで残ってしまう食べ物は何かアンケートを取ったところ、茄子は上位に入っていました。子供たちには人気がない茄子ですが、油と相性がとても良い食材です。だしがしみた揚げなすをお楽しみください。



高知県は茄子の栽培がさかんで、生産量は全国1位です。

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

